

令和6年度
学校だより

第3号

ふぞくの風

鹿児島大学教育学部附属小学校



令和6年6月21日 発行

父の後ろ姿

校長 橋元 忠史

6月は父の日があったので、今月は私の父の思い出を書いてみたい。

私が小さい頃はとても厳格な父であった印象が強い。いや「とてつもなく」と言った方がいい程の怖い存在であった。やんちゃだった私が何かしでかすたびにげんこつが飛んできた。だから、先生は怖くなかったが、その先生に言われる何よりもいやな台詞は「じゃあ、お父さんに言うからね」だった。

そんな父のことで胸に刻まれた忘れられないエピソードがある。それは私が確か小学2、3年生の頃。隣の女の子が本当は持ってきてはいけない匂いのする消しゴムを見せびらかしていたのが嫌で、つい取り上げてしまった。そしてそのまま自分の家に持ち帰ってしまったのだ。たぶん、うらやましかったのだと思う。明日返せばいいくらいに思っていたのだが、何とそれを母に見つかってしまったのだ。うわあ、まずい。もうすぐ、父が帰ってくる。怖くて震えた。

母から事の次第を玄関で聞いた父。私は、げんこつが何発飛んでくるかと覚悟した。ところが、父は意外にも手を上げることなく、ただ一言こう言った。「よし、行くぞ。準備しなさい。」一体、どこへ？

私たちが向かったのは、他でもない匂いのする消しゴムの持ち主である隣の席の女の子の家だった。玄関を開けると、父は相手の親に「申し訳ありませんでした。」と深々と頭を何度も下げている。家ではいつも偉そうにしていると思っていたあの父が、一言も言い訳せずに、ひたすら親として謝っている。私に謝らせるのではなく、である。私は父の後ろで小さくなりながら、涙が止まらなかった。なぜ、こんなに涙が出るのだろう。どこも痛くないはずなのに。げんこつを数十発もらうより効いた。正直、殴られる方がましとさえ思った。自分が謝った方がどんなに楽かと。

消しゴムを返した帰路。家に帰り着いても父は憤りを私にぶつけることもなく、何も言わなかった。息子がしたことを自分のことのように謝る後ろ姿。決して忘れまい。烈火のごとく怒られたり、一緒に笑い合ったりした多くの喜怒哀楽の表情より、たった一回の後ろ姿をもってして、大人としての有り様を示し、息子の心に強く刻み込むなんて。かなわないと思った。

SNS等の浸透もあり、言った者勝ちになりつつあるこの世の中。皆、言い訳の仕方とか自分を正当化することには長けてきている。我々大人の見せる姿がそうであれば当然、子もしかり。父となった今、私は果たして「真の大人の潔さ」を後ろ姿で見せられているだろうか。

天国にいる父へ。「後ろ姿」を残してくれた父へ。心を込めて。「ありがとう・・・」と。

鹿児島大学教育学部附属小学校Instagram 絶賛配信中！

学校の行事や日々の授業、マイプロジェクトの様子などなど、配信中です。ぜひ、ご覧ください。
<https://www.instagram.com/fuzokuinsta/>



～「ありがとう」にあふれる附属小学校へ～

● 多くの「ありがとう」が寄せられています

あなたの「ありがとう」エピソードを教えてください
伝えたい「ありがとう」を待っています

いつでも
募集中



各学級の掲示板に生活努力目標が掲示していますが、その中に上記のような投稿フォームが添えられています。フォームへ寄せられたエピソードを今回は5つ紹介します。

2年生のとき、教室でいつも〇〇さんがわからない問題やわからないことを教えてくれたけど、〇〇さんは転校してしまった。〇〇さん、今までやさしくしてくれてありがとうね。 【4年男児】

掃除の時間（イングリッシュルーム）でバケツを片付ける時、みんなが嫌がっている中、5年に組の〇〇くんと、△△ちゃんが何も嫌がらず片付けてくれて、ありがとうという気持ちになった。 【6年女児】

2時間目休みに教室で自分が黒板消しをしていると、〇〇さんが自分から手伝いに来てくれたからありがとうという気持ちになった。 【5年女児】

花粉症で辛いときに、電車内でおばあさんが、ティッシュをまるまるくれたことです！ 【6年女児】

電車の運転士さんにありがとうございます。 【3年男児】

相手が自分に対して行ってくれた言動は「当たり前」ではないのかもしれませんが、5つのエピソードのように周囲の人々の言動に気付き、それを「ありがたいこと」と捉え、感謝の気持ちを伝えることに価値があると考えます。これらは、子どもたちの心の成長に大きくかかわるものだと考えます。

● 子どもも教師も生き生き学ぶ ～教職の魅力発信 令和6年度公開研究会～

令和6年度の公開研究会が、5月31日に開催され、県内外から700名を超えるたくさんの方々々が来校しました。今年度は、公開研究会の在り方自体にメスを入れ、研究スタイルや運営方法なども見直した成果を発信する機会となりました。

授業では、日頃の学習の成果を発揮しながら、自分から進んで考えを伝えたり、友達の考えを自分の考えに生かしたりする姿が見られました。参加された先生方からは、「子どもたちが楽しそうに活動している様子が印象的だった。」「児童一人一人が発見し、なぜそのようになるのかという理由をもって授業に臨んでいる様子が伺えた。」といった子どもたちの学びの姿に対する称賛の声が数多く聞かれました。

多くの保護者の皆様に支えられて成り立つ本校の公開研究会。御協力いただきましたの方々、本当にありがとうございました。



【自分の考えを伝え合う児童の姿】

【7月の主な行事】

| | | | |
|--------|--------------------|--------|---------------------------|
| 3日(水) | マイプロ Day (1・2年生休み) | 19日(金) | 前期前半終了 |
| | 学校保健委員会 | | わくわくドキドキ集会、大掃除 |
| 8日(月) | 学年・学級PTA (高学年) | 22日(月) | 教育相談 (～26日) |
| 9日(火) | 学年・学級PTA (中学年) | | 図書館開放 (～30日) |
| 10日(火) | 学年・学級PTA (低学年) | | 【9:00～11:00, 13:30～15:00】 |
| 11日(木) | 夏季休業図書特別貸出 (～16日) | 24日(水) | 市水泳記録会 6年生大会 |
| | | 25日(木) | 市水泳記録会 5年生大会 |